

有料老人ホームを選ぶには？

有料老人ホームには、『介護付有料老人ホーム』、『住宅型有料老人ホーム』など複数の種類がありますので、有料老人ホームを探す前に、まず、「入居の条件」、「提供されるサービスの内容」、「入居の際に必要な費用」、「毎月の利用料」、「有料老人ホームでの生活」、「介護や医療」などについて、自分がどのようなものを望んでいるのか整理しましょう。

類型	説明
健康型有料老人ホーム	介護が必要となった場合には、契約を解除し、退去することになります。
住宅型有料老人ホーム	介護が必要となった場合、訪問介護等の介護保険のサービスを利用しながら、施設での生活を継続することが可能です。
介護付有料老人ホーム	介護が必要となっても、当該有料老人ホームが提供する介護サービス（特定施設入居者生活介護）を利用しながら、施設での生活を継続することが可能です。



有料老人ホームに直接請求したり、市の窓口を訪れたりしてパンフレットを入手し、入居費用、毎月の利用料、有料老人ホームの規模や居室の間取り、立地、運営方針、介護体制、協力病院の医療体制などさまざまな点で、自分に合った有料老人ホームはどこか、具体的に比較検討してみましょう。

なお、住宅型有料老人ホームは介護保険のサービスを提供しないため、別に契約することになりますが、この場合には有料老人ホームの利用料以外に介護保険のサービス利用料の自己負担が発生します。



いくつかの候補を選んだら、その有料老人ホームを実際に見学し、可能であれば体験入居をしてみて、実際に自分自身でいろいろ確認してみましょう。実際に入居者の皆さんの話を聞いてみるのも効果的です。この際、始めから1カ所に絞るのではなく、複数の有料老人ホームを見学、体験入居するようにしてください。

また、重要事項説明書、入居契約書、介護サービス利用契約書（介護付の場合）、管理規程、介護サービス等の一覧表などの内容について、有料老人ホームの職員から説明を受けてください。

この際、入居時の費用、毎月の利用料の負担については、金額だけではなく、内容についても確認検討してください。毎月の利用料に含まれるサービスと、別途自己負担が生じるサービスがありますので、場合によっては、負担額が予想していた金額より多くなる可能性があります。

重要事項説明書で確認できること

- ① 有料老人ホームの運営事業者の情報
事業主体の名称、主な事業内容などが確認できます。
- ② 有料老人ホームの概要についての情報
有料老人ホームの所在地、交通手段、開設年月日、類型などが確認できます。
- ③ 職員体制についての情報
日中・夜間の勤務体制、職員が保有している資格、介護職員体制などが確認できます。
- ④ 医療関連サービスの情報
協力医療機関の名称、協力内容などが確認できます。
- ⑤ 介護を行う場所の情報
要介護状態になった場合に介護を受ける場所などが確認できます。
- ⑥ 入居後の居室の移動についての情報
状況により居室が変更になる際の判断基準、手続、費用などが確認できます。
- ⑦ 入居・退去要件の情報
入居の条件や、契約解除の要件（有料老人ホーム側・入居者側）などが確認できます。
- ⑧ 身元引受人についての情報
身元引受人の条件、義務などが確認できます。
- ⑨ 体験入居の情報
体験入居制度がある場合の費用負担などが確認できます。
- ⑩ 入居・退去状況についての情報
入居者の人数、平均年齢、要介護度や前年度の退去者の人数とその理由などが確認できます。
- ⑪ 運営懇談会の情報
懇談会が年に何回、どのような内容で開催されているかなどが確認できます。
- ⑫ 有料老人ホームの設備についての情報
居室のタイプや広さ、共用設備の種類などが確認できます。
- ⑬ 苦情対応についての情報
有料老人ホームの苦情対応窓口、有料老人ホーム外の相談先などが確認できます。
- ⑭ 入居時の費用の情報
入居時費用額と返還金の算定方法、保全措置の有無などが確認できます。
- ⑮ 毎月必要な費用の情報
月額利用料の額と内訳、料金改定方法などが確認できます。
- ⑯ サービス内容の情報
支払費用に対してどのようなサービスが提供されるかなどが確認できます。